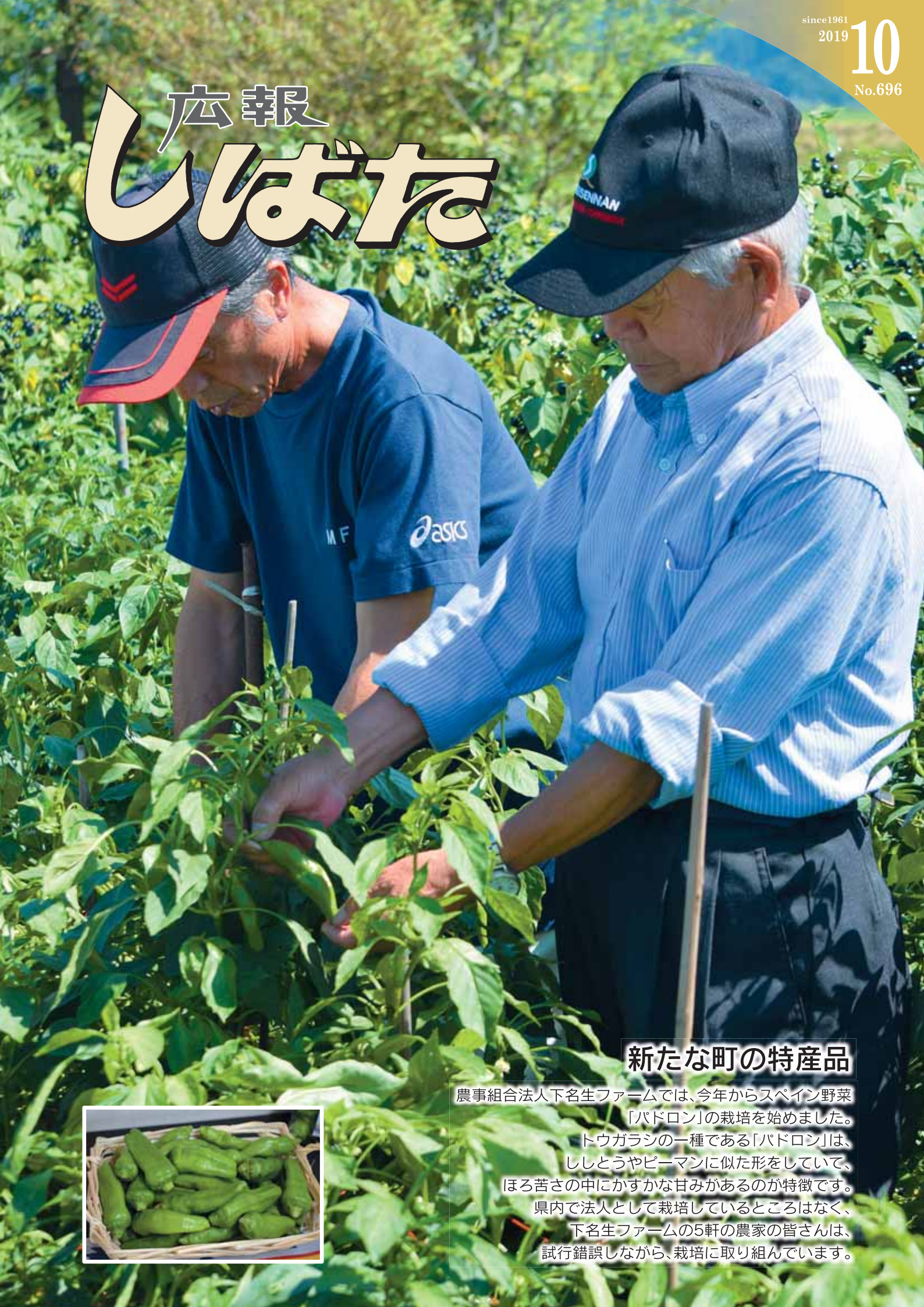


広報 しばた



新たな町の特産品

農事組合法人下名生ファームでは、今年からスペイン野菜「パドロン」の栽培を始めました。「パドロン」は、トウガラシの一種である「パドロン」は、ししとうやピーマンに似た形をしていて、ほろ苦さの中にかすかな甘みがあるのが特徴です。県内で法人として栽培しているところはなく、下名生ファームの5軒の農家の皆さんは、試行錯誤しながら、栽培に取り組んでいます。



平成30年度 決算報告

決算の概要

一般会計、各特別会計、水道事業会計の決算総額は、歳入が240億7,697万円、歳出が240億5,888万円、差引き額1,809万円、前年度比1・7%増、歳出が240億5,888万円、前年度比1・8%増とな

りました。

一般会計は、歳入が129億8,392万円、前年度と比べ3億550万円(2・4%)の増、歳出が128億8,483万円、前年度と比べ3億550万円(2・8%)の増となっています。

平成30年度決算の内訳

内 訳	歳 入	歳 出	差し引き額
決算総額	240億7,697万円	240億5,888万円	1,809万円
一般会計	129億8,392万円	128億8,483万円	9,909万円
特別会計	97億 650万円	95億6,791万円	1億3,859万円
国民健康保険事業特別会計	41億 574万円	40億9,336万円	1,238万円
公共下水道事業特別会計	22億1,568万円	21億8,269万円	3,299万円
介護保険特別会計	29億4,921万円	28億5,953万円	8,968万円
後期高齢者医療特別会計	3億8,626万円	3億8,272万円	354万円
土地取得特別会計	4,961万円	4,961万円	0円
水道事業会計	13億 820万円	10億9,952万円	2億 868万円
資本的収入支出	7,835万円	5億 662万円	△4億2,827万円

平成30年度の町の決算が、町議会9月会議で審議され、認定されました。皆さんが納めた税金や国・県から交付されたお金がどのように使われたのかお知らせします。

※千円以下は端数調整しています。
問 財政課 TEL 55-2278

歳入

歳入から歳出を差し引いた収支は、9,909万円となり、そこから翌年度へ繰り越すべき財源1,353万円を差し引いた実質収支は、8,556万円の黒字となりました。

町税は、主に固定資産税が減少したことにより、前年度より1,458万円(0・3%)減の、43億8,051万円、歳入全体の051万円で、歳入全体の33・7%を占めています。地方交付税は、26億5,518万円で、前年度と比べ、9,269万円(3・6%)増となりました。これは、社会福祉に係る普通交付税が増したためです。町債は、公営住宅整備事

地方譲与税 1億3,479万円(1.0%)
国税の自動車重量税や地方道路税などが一定の基準により分配されるお金

県支出金 7億5,278万円(5.8%)
町が行う特定の目的に対して、県から交付されるお金

交付金 8億3,981万円(6.6%)

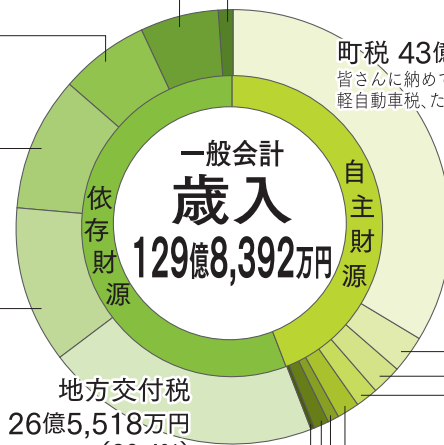
町債 13億1,730万円(10.1%)
大きな事業を行うために長期借入れをしたお金

国庫支出金 15億1,445万円(11.7%)
町が行う特定の目的に対して、国から交付されるお金

地方交付税 26億5,518万円(20.4%)
市町村の財政力に応じて国から交付されるお金

財産収入 1,645万円(0.1%)

分担金・負担金 1億4,249万円(1.1%)



町税の内訳

個人町民税	15億9,192万円
法人町民税	2億3,125万円
固定資産税、都市計画税	22億2,405万円
その他の町税	3億3,329万円
合計	43億8,051万円

町税 43億8,051万円(33.7%)
皆さんに納めていただく、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など

繰入金 3億4,483万円(2.7%)
町の一般会計以外の会計(基金など)から移すお金

諸収入 3億875万円(2.4%)

使用料・手数料 2億2,453万円(1.7%)

寄附金 2億360万円(1.6%)

繰越金 1億4,845万円(1.1%)

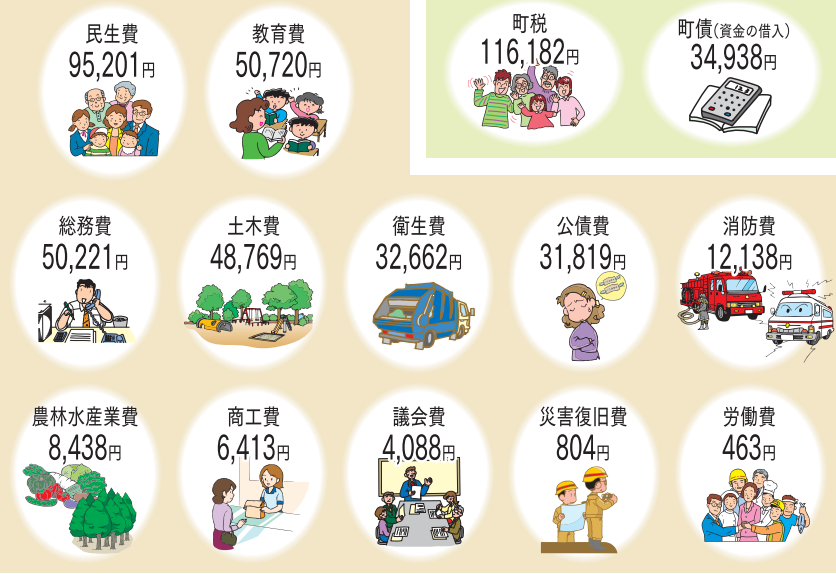
業債の発行額の増加により、前年度比1億6,190万円(14・0%)増の13億1,730万円となりました。寄附金の大部分を占める、た。ふるさと柴田応援寄附金は、柴田町を応援していただけているファン拡大に努めた結果、2億344万円となりました。

平成30年度町民一人あたりで見た決算額

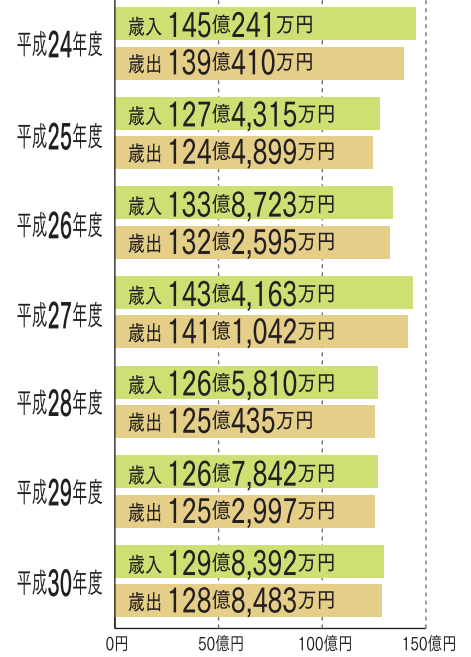
(平成31年3月31日現在の人口37,704人)

歳出(使ったお金) 総額 341,736円

歳入(もらったお金) 総額 344,365円



一般会計総額の推移



歳出

北船岡町営住宅4号棟・5号棟新築事業や船岡小学校大規模改造事業、船岡中学校大規模改造工事、新図書館用地の購入など、快適な生活環境の整備や教育環境の充実に努めたことから、土木費が前年度と比べ2億4,160万円(15.1%)増の18億3,879万円、教育費が1億2,710万円(7.1%)増の19億1,236万円(7.1%)増の19億1,236万円、労働費が前年度と比べ2億36万円となりました。

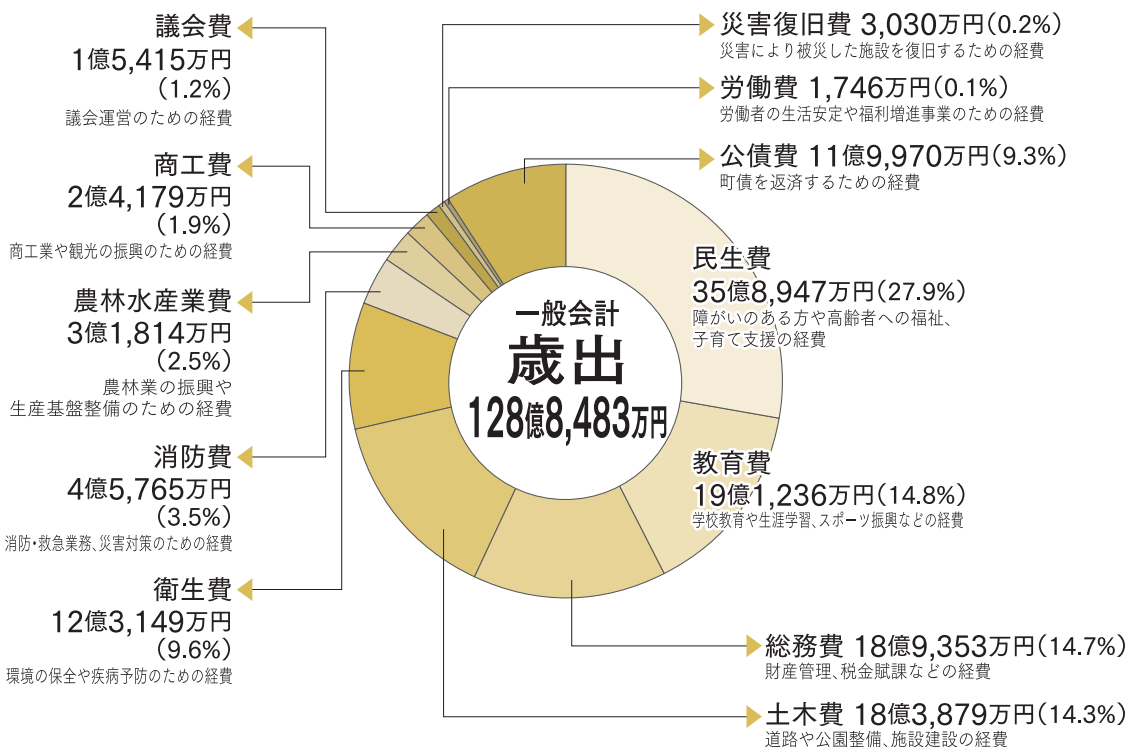
農林水産業費は、ほ場整備事業の推進や農業水利施設の適切な維持管理を実施したことにより、前年度比3.2%増の3億1,814万円となりました。

消防費では、剣水地区にコミュニティ消防センターを新築し、また、新たに3カ所に土のうステーションを設置するなど、火災、水害に備えた、消防防災設備の整備を行いました。

民生費では、柴田小学校

内に放課後児童クラブを新設したほか、今年4月から放課後児童クラブの受け入れを6年生までに拡大する

ための施設整備など、安心して子育てができる環境の整備を図りました。



平成30年度の主要事業の成果と決算額

教育環境整備事業



FF式暖房機を新設(船岡中学校)

▶ 事業費	2億6,047万円
▶ 財 源	
町	： 2,040万円
国・県補助	： 7,392万円
その他(起債など)	： 1億6,615万円

- 主な事業
- ・船岡中学校大規模改造工事(空調)
 - ・船岡小学校大規模改造工事
 - ・第一幼稚園空調設備設置工事 等

地方創生事業



全国フットパスの集い2018in柴田

▶ 事業費	7,183万円
▶ 財 源	
町	： 4,186万円
国・県補助	： 2,997万円

- 主な事業
- ・フットパス関連事業
 - ・船岡城址公園東屋等設置工事
 - ・花回廊商店街にぎわい事業 等

子育て支援事業



船岡放課後児童クラブ

▶ 事業費	3億 192万円
▶ 財 源	
町	： 1億5,308万円
国・県補助	： 1億4,884万円

- 主な事業
- ・放課後児童クラブ改修工事(船岡・槻木・船迫)
 - ・小規模保育設置促進事業費補助
 - ・子ども医療費助成事業 等

観光政策推進事業



さくらマルシェ

▶ 事業費	6,392万円
▶ 財 源	
町	： 2,295万円
国・県補助	： 3,447万円
寄附金	： 650万円

- 主な事業
- ・滞在コンテンツ充実・強化事業
 - ・ナイトツーリズム受入環境整備事業
 - ・プロモーション強化事業 等

道路整備事業



町道槻木104号線

▶ 事業費	2億2,150万円
▶ 財源	
町	: 7,574万円
国・県補助	: 5,679万円
その他（起債など）	: 8,897万円

○主な事業

- ・町道槻木169号線ほか44路線道路補修工事
- ・町道葉坂24号線ほか19路線道路補修工事
- ・町道富沢16号線道路改良工事 等

防災対策関連事業



第9班剣水コミュニティ消防センター

▶ 事業費	9億6,827万円
▶ 財源	
町	: 3,562万円
国・県補助	: 1億9,066万円
その他（起債など）	: 7億4,199万円

○主な事業

- ・第9班（剣水）コミュニティ消防センター新築工事
- ・鷺沼排水区5号調整池整備工事
- ・土のうステーション設置工事 等

町営住宅建設事業



北船岡町営住宅4号棟

▶ 事業費	8億2,072万円
▶ 財源	
町	: 1,582万円
国・県補助	: 3億9,510万円
その他（起債など）	: 4億 980万円

○主な事業

- ・北船岡町営住宅4号棟新築工事
- ・北船岡町営住宅4号棟駐車場整備工事 等

農林業振興関連事業



葉坂農地整備予定地

▶ 事業費	1億3,767万円
▶ 財源	
町	: 6,827万円
国・県補助	: 2,597万円
その他（起債など）	: 4,343万円

○主な事業

- ・葉坂農地整備事業
- ・里山ビジネス振興事業
- ・農林作物鳥獣被害防止対策事業 等

町債(借金額)・公債費償還額(返済額)・基金残高(貯金額)の状況

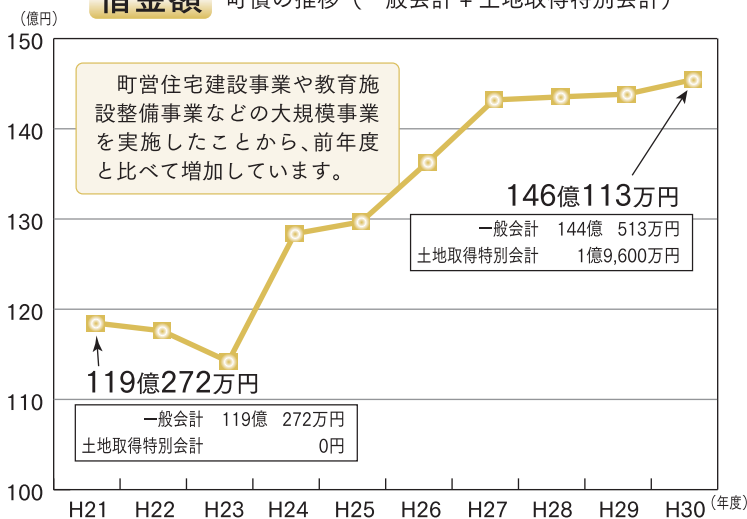
町債(町の借金)の状況

内 訳	年度末残高
合計	241億 917万円
一般会計	144億 513万円
臨時財政対策債	65億4,987万円
土木債	28億5,790万円
公営住宅債	21億7,905万円
教育債	19億3,742万円
農林水産債	2億2,643万円
災害復旧債	2億 491万円
民生債	1億5,231万円
減税補てん債	1億 881万円
総務債	5,704万円
商工債	5,241万円
消防債	3,550万円
災害援護資金貸付金	3,378万円
衛生債	970万円
公共下水道事業特別会計	69億1,731万円
水道事業会計	25億9,073万円
土地取得特別会計	1億9,600万円

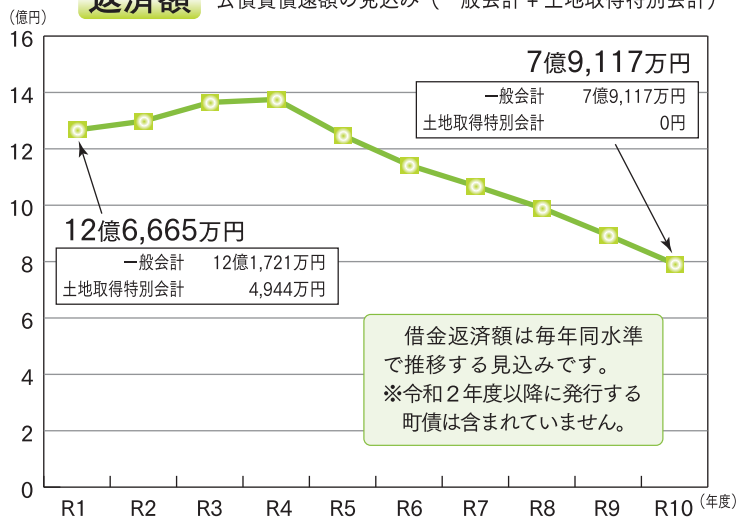
基金(町の貯金)の状況

内 訳	年度末残高
合計	36億2,961万円
財政調整基金	15億 37万円
スポーツ振興基金	5億5,049万円
学校給食センター建設等整備基金	2億2,365万円
図書館建設基金	2億 462万円
ふるさと柴田応援基金	2億 344万円
町債等管理基金	2億 14万円
健康つながり基金	743万円
学校教育施設整備基金	561万円
科学学習振興基金	504万円
さくら基金	309万円
防災基金	99万円
特色のある教育活動支援基金	50万円
国民健康保険事業財政調整基金	5億4,685万円
国民健康保険健康づくり基金	590万円
高額療養費貸付基金	500万円
国民健康保険出産資金貸付基金	240万円
介護給付費準備基金	1億6,409万円

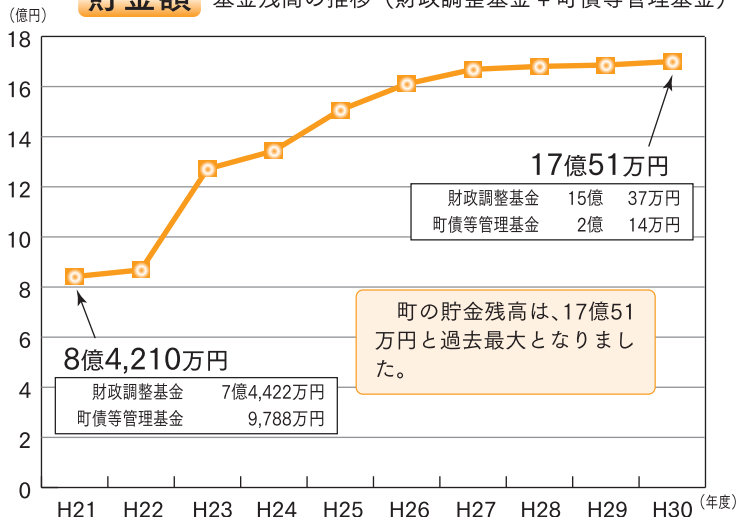
借金額 町債の推移(一般会計+土地取得特別会計)



返済額 公債費償還額の見込み(一般会計+土地取得特別会計)



貯金額 基金残高の推移(財政調整基金+町債等管理基金)



健全化判断比率などの状況

町では、いずれの指標も国が定める財政の早期健全化や再生の基準を大幅に下回っており、収支バランスの取れた、健全な財政運営が行われています。

健全化判断比率

実質赤字比率…該当なし ● 早期健全化基準 13.78% ● 財政再生基準 20.00%

福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の健全化の度合いを示す指標です。

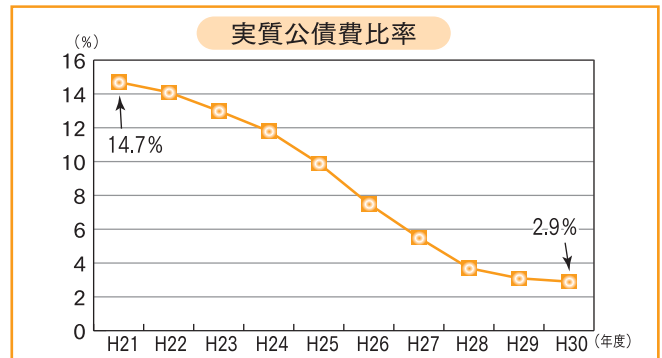
連結実質赤字比率…該当なし ● 早期健全化基準 18.78% ● 財政再生基準 30.00%

特別会計や企業会計を含む全ての会計を合わせて、町全体としての赤字の程度を指標化し、全会計の財政運営の悪化の深刻度を示す指標です。

実質公債費比率…2.9%

- 早期健全化基準 25.0%
- 財政再生基準 35.0%

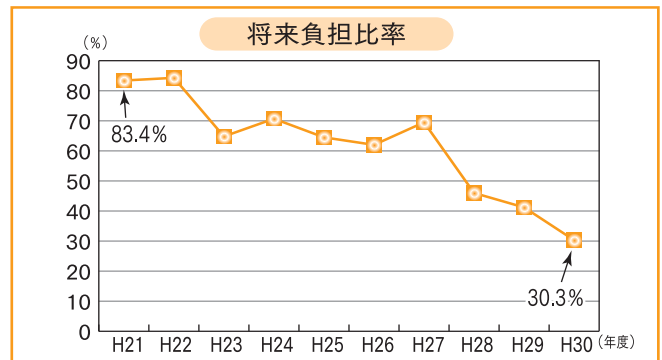
町の借入金にかかる元金および利息の支払額が標準財政規模に対して、どのくらいの比率なのかを見るもので、町の資金繰りの程度を示す指標です。



将来負担比率…30.3%

- 早期健全化基準 350.0%

町の借入金や将来支払わなければならない負担金などの残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。



資金不足比率

公共下水道事業…該当なし **水道事業…該当なし**

- 経営健全化基準 20.0%

公共下水道事業、水道事業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示す指標です。

- ※「早期健全化基準」とは…例えるとイエローカードに当たります。4つの指標のうち、1つでもこの基準以上になった場合は「早期健全化団体」となり、健全化計画を策定して自主的に財政の健全化に取り組むことになります。
- ※「財政再生基準」とは…例えるとレッドカードに当たります。将来負担比率を除く3つの指標のうち、1つでも基準以上になった場合は「財政再生団体」となり、財政再生計画を策定して、国の監督する下で財政再建に取り組むことになります。
- ※「経営健全化基準」とは…例えるとイエローカードに当たります。この基準値以上になった場合は、「経営健全化団体」となり、経営健全化計画を策定して自主的に財政の健全化に取り組むことになります。

きらりと光るしばたの子



問 子ども家庭課 Tel.55-2115

柴田町では、平成27年度から「みんなで育てようきらりと光るしばたの子」を基本理念とした「柴田町子ども・子育て支援事業計画」のもとで、さまざまな子育て支援を実施しています。

実際に保育所や幼稚園などの現場に関わる方々からそれぞれの役割などを伺いました。

また、10月1日から新たにスタートした、3歳児から5歳児までの幼児教育・保育の無償化も紹介します。幼児教育と保育に対するニーズが多様化していく中、今後も子どもたちが健やかに成長していくよう、子育て支援の充実に努めていきます。

※町の子育て支援についてまとめた「しばた子育て支援ガイドBOOK」を発行しています。各施設または子ども家庭課までお問い合わせください。

保育所

保護者の就労などにより保育の必要のある、0歳から小学校就学前までの子どもが対象の保育施設です。



船岡保育所 片平 弘子 所長

保育所は、家庭や地域のさまざまな機関や人々と連携を図り、養護と教育を一体的に行いながら、子どもの最善の利益を一番に考えています。乳幼児期は、生涯にわたる必要な「生きる力」の基礎を培う重要な時期です。子どもが安心感と信頼感を持つて主体的に生活できるよう、一人一人の健やかな育ちを大切に支えています。



西船迫保育所利用者 伏見さん親子

娘は、入所するまで同じ年頃の子と接したことがほと

んどなく、食事も食わず嫌いはばかりで、心配で仕方ありませんでした。しかし、今は、毎日一生懸命、保育所での話をしてくれれます。先生方には、たくさんのお世話を掛けていてと思いますが、日に日に成長する娘の姿がとても楽しみです。

小規模保育事業所

保護者の就労などにより保育の必要のある、0歳から2歳までの子どもが対象の保育施設で、定員6名から19名と家庭的な環境での保育が行われています。



ゆるりんのうち 榎木 芳江 施設長

小規模保育施設は、少人数ならではの一人一人に寄り添ったきめの細かな保育をしています。また、季節の行事やさまざまな体験を通して、生きる力や思いやりの心を育てます。そして、保護者

の皆さまと連携を密にし、一人一人の状況や発達過程を踏まえ、心身共に健康な子どもに育つよう援助しています。

幼稚園

満3歳から小学校就学までの子どもに幼児教育を行う教育施設です。



たんぼ幼稚園 第二たんぼ幼稚園 伊藤 誠 園長

幼稚園は、幼児の自発的な活動としての遊びを中心とした生活を通して、その心身の発達を助長することを目的としています。幼児は、遊びやさまざまな体験を重ねていく中で、健康で安全な生活、人とかかわる力、見る・聞く・考える・工夫する・話すなどの小学校教育の基礎となる力が育まれていきます。また、教育相談や預かり保育などで家庭教育支援も行っています。

町内の保育所、小規模保育事業所、幼稚園一覧

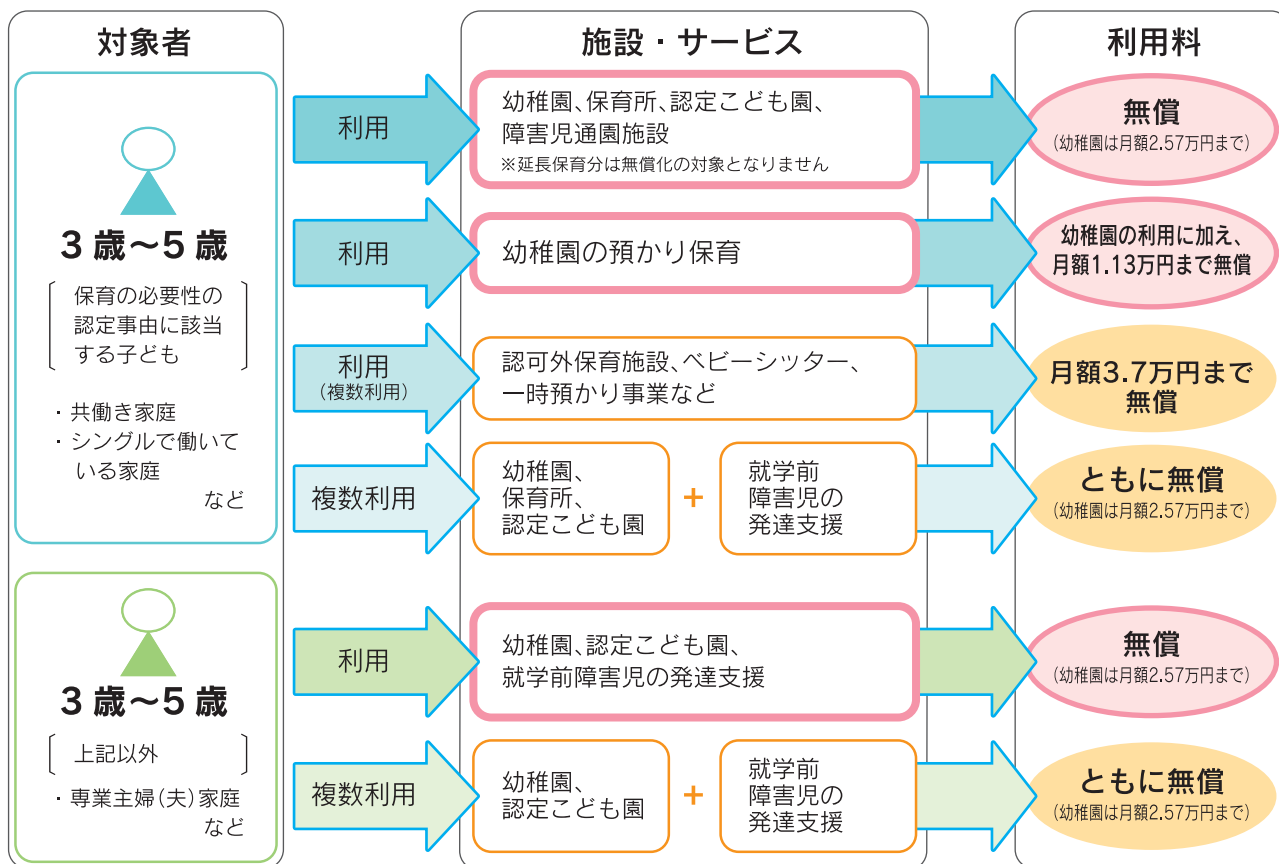
保育所				
	施設名	住所	電話	定員
公立	船岡保育所	船岡新栄2丁目18-1	55-1253	160人
	槻木保育所	槻木下町2丁目6-31	56-1332	130人
	西船迫保育所	西船迫2丁目5-29	57-1387	130人
私立	(仮称)しばたペンギン国際幼稚園 ※令和2年4月開園予定	大字船岡字下横橋54-1	080-2845-2103	50人

小規模保育事業所				
	施設名	住所	電話	定員
	モンテッソーリこどもの家 ほこほこふなおか	船岡中央2丁目5-32	51-8834	19人
	カラースふなおか園	大字船岡字久根添67-1	87-8466	19人
	ゆるりんのおうち	船岡中央1丁目3-41	87-8153	12人
	ゆるりんのおうち槻木	槻木白幡2丁目10-34	87-8723	12人
	どれみ	槻木上町3丁目2-15	87-8747	12人
	あんこハウス	船岡東1丁目4-30	54-5305	10人
	保育ママ マミースマイル	船岡中央1丁目3-52	54-1220	10人

幼稚園				
	施設名	住所	電話	定員
公立	第一幼稚園	船岡東1丁目2-60	55-1136	60人
私立	熊野幼稚園	大字本船迫字上町51	55-5051	200人
	浄心幼稚園	船岡南1丁目1-7	54-3632	180人
	たんぼ幼稚園	槻木西2丁目8-6	56-1239	80人
	第二たんぼ幼稚園	大字入間田字外谷地73	51-9190	60人

※第一幼稚園は、対象は4歳児、5歳児のみです。
 ※私立幼稚園では、預かり保育も行われています。
 ※来年度の各保育所、小規模保育事業所の入所の申込書は、10月1日(火)から各施設（(仮称)しばたペンギン国際幼稚園を除く）および子ども家庭課で配布するほか、町ホームページからもダウンロードできます。また、私立幼稚園の入園の申込書は、10月1日(火)から各幼稚園で配布します。

10月から幼児教育・保育の無償化がスタートしました



- 住民税非課税世帯については、0歳から2歳までについても無償化の対象となります。(認可外保育施設の場合、月額4.2万円まで無償)
- 保育の必要性とは、保護者の就労、疾病、障がいなどにより、家庭で保育ができない場合をいいます。幼稚園の預かり保育や認可外保育施設を利用している場合、無償化の対象となるためには、お住まいの市町村から「保育の必要性の認定」を受ける必要があります。
- 通園送迎費、食材料費、行事費などは、これまでどおり保護者の負担になります。



159

柴田町長 滝口 茂

県南は、蔵王のお釜をメ
インに、ダム湖、溪流、河
里山などの自然景観に恵
まれ、また、お城や蔵、ス
キー場などの観光レ
ジャー施設、豊かな農産物
を活用した伝統的な食文化があり、古くか
ら観光地としての名声を博してきました。
しかし、近年は、旅行者のニーズの多様化
や東日本大震災の影響などもあって、
観光客数は伸び悩んだままとなって
いました。

ところが、ここに来て、国のインバ
ウンド政策と相まって、仙台空港の民
営化によるLCCの就航や、海外への
積極的なプロモーション活動の展開
によって、外国人観光客が急増し、ま
た、新たな道の駅が開設されるなど、
県南に新しい風が吹いてきています。

今回、こうした追い風を利用して、新
たな切り口からの観光振興策として、
柴田町から「花のまち柴田」を進化させた
「ガーデンツーリズム」を提唱させていた
できました。

国も今年度からガーデンツーリズムを推
進するため、登録制度を創設しました。そ
の目的は、さまざまな花園や庭園が連携し
た中で、魅力的な体験や交流を通じ、地域
の活性化や庭園文化の普及を図ろうとする
ものです。

ガーデンツーリズムの推進

第一回目に登録されたのが、「北海道
ガーデン街道」や「ガーデンネットワークス横
浜」などの6カ所です。全て全国に名の
通ったA級の観光地ばかりです。
それにドン・キホーテのようにチャレン
ジしたのが、県南2市9町の自治体と、
ガーデンオーナーや観光関係機関で構成さ
れた「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協
議会」です。

今後、県南でのガーデンツーリズム
を盛んにするために、みちのく杜の湖
畔公園を起点に、蔵王山麓から太平洋
までの間に点在する桜並木や花畑、民
間の庭園などを巡る広域周遊ルート
を設定するとともに、家庭のお庭を開
放するオープンガーデンとのリンク
を図り、ハーモニー豊かな花回廊の構
築を目指したいと思っています。

さらに、恵まれた交通網を活用し、
食文化や歴史的な建造物やレクリ
エーション施設を結びつければ、アク
ティブなガーデンツーリズムになるのでは
ないかと考えております。

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会
が核となり、官民が連携した取り組みを推
進する中で、これまでの花修景に磨きをか
け、この県南エリアを「花巡りの聖地」とし
てまいります。県南の皆さまのご理解もあ
つて、まずは、広域観光の振興に向かつて、
一歩前に足を踏み出すことができました。

しばた歴史探訪

第四回 五輪小路と本町通り

船岡中央二丁目・船岡西一丁目

江戸時代前期、柴田氏は寛文事件後に登米郡米谷から船岡
に所替えになりました。旧領に戻り、館山の三の丸跡にあつ
た柴田氏の居屋敷と家臣たちが住む家中屋敷、足軽や農工商
に従事する町人が暮らす町場とを合わせた「舟岡要害」を幕
末まで支配します。

さて、船岡の城下町としての特徴は、家中屋敷と町場が
はつきりと分けられていたことにあります。そして、この町
並みの東西に伸びるのが、五輪小路です。この小路の両側
には柴田家の上級・中級の武士の屋敷が並んでいました。現在
も残る黒板塀が、当時をしのぶよすがとなっています。

一方、本町通りは南北に伸びる通りです。特に江戸時代の
後期頃からは商家が多く立ち並び、この界隈は船岡の商業経
済の中心として長く栄えてきました。この通りの真ん中を幅
四尺(約1.3m)深さ三尺(約1m)の用水が流れ、人々の
生活を支えていました。明治時代に入って、用水に蓋をして
暗渠化する話を持ち上がりましたが、商家の主人たちが要望
して、蓋のない現在のかたちで通りの東側に移されることにな
りました。本町通りには、商家建築や倉などが多くありま
したが、近年建て替えなどが進み、その数が少なくなってい
ます。



船岡家中絵図



五輪小路



本町通り

問しばたの郷土館 ☎55-0707



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ61

☎健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第61回のテーマは、「+(プラス)10分、多くからだを動かそう」です。

今より10分多くからだを動かすだけで、生活習慣病やがんを発症するリスクを下げるすることができます。

+ (プラス) 10分の簡単な運動は歩くことです。歩いて10分くらいで行ける距離でもつつい車を使っていませんか? 買い物や用事の際、面倒がらずに歩いてみましょう。10分歩くとおよそ1,000歩に相当します。電車内で座らずに立つようにしたり、建物内ではエレベーターなどを使わずに階段を使ってみたり、毎日の生活の中にはからだを動かすチャンスが満載です。

「からだを動かす時間」を意識して、今より10分多く、からだを動かしましょう。

アプリで楽しくウォーキング!

みやぎウォーキングアプリ「アルクト aruku&」は、歩数計機能のほか、柴田町のフットパスアコースを含めた県内外のウォーキングコース機能など、「歩く」を気軽に楽しくサポートしてくれるアプリです。

アプリを使って、歩数アップを目指しましょう。

はなみちゃんも登場します!



県内のご当地キャラが応援してくれる
みやぎウォーキングアプリ
を使ってみよう!

アプリの入れ方はこちら

みやぎウォーキングアプリ



問合せ先: 宮城県保健福祉部健康推進課
TEL: 022-211-2624

運動普及リーダーを紹介します

運動普及リーダーは、町健康推進員の中で運動支援について学んだ方々で、運動を通じた健康づくりを広める担い手として現在15名が活動中です。

主にはからだ測定会や出前講座などの保健事業で、体組成などの測定補助やストレッチ、筋力トレーニングの紹介をしています。

これからも健康に関する情報を町民の皆さんに発信したり、運動を続けることの良さをPRしていきます。



体組成測定を優しくサポート



楽しくストレッチ

広 告

広 告

まちかど NEWS



富沢地区から6班、上川名地区から2班が参加し、優勝を目指しました。



子どもも大人も本気で走ったリレーは、白熱した勝負が繰り広げられました。

第49回富上区民体育祭

NEWS

9月1日(日)、富上農村公園グラウンドで、「富上区民体育祭」が開催されました。

富沢、上川名両地区の交流を目的に始まった体育祭も今回で49回目となり、玉入れやリレーなどの11種目が行われ、和やかな雰囲気の中で親睦を深めていました。

富沢6班の加藤明さんは、「意識を高めようと揃いのユニフォームを作って参加しています。人数は少ない班ですが、毎年みなでがんばっています」と話してくれました。

柴小地区合同敬老会

NEWS

町内で活躍する「BB4GG4」によるバンド演奏や歌謡ショー、参加者によるカラオケなどに会場は大いに盛り上がり、行政区を越えて長寿をお祝いしました。

今年で3回目の参加という佐藤浩さんは、「毎年、趣味のカラオケを皆さんの前で披露できることが楽しみです」と話してくれました。



94名の方が出席されました。いつまでもお元気でいらしてください。

広 告

広 告

第29B区「いこいの日」



皆さん笑顔が絶えない楽しい時間を過ごしていました。

9月12日(木)、北船岡集会所で、第29B区の「いこいの日」が行われました。「いこいの日」は、高齢者が仲間づくりを進め、いきいきと元気に暮らしていくことを目的に各地域で行われています。

第29B区では、毎月2回行われ、今回は、ベタンクや卓球、コミュニケーション麻雀、健康麻雀などが行われました。

大沼博子さんは、「ここにくるとみんなと話ができとても楽しいです。もつと多くの方に参加してもらって、楽しんでほしいです」と話してくれました。

リンパストレッチ教室



参加者からは、「ストレッチは家でも続けていきたい」という声が聞かれました。

9月3日(火)、船迫公民館で、柴田町総合型地域スポーツクラブ主催の「リンパストレッチ教室」が開催されました。

リンパストレッチを通して、疲労回復の促進、むくみの改善など、自身の体を見つめ直すことを目的に、来年2月まで16回開催されます。

講師の阿部由美子氏は、「リンパの流れを知ることでの体の悩みを改善できます。無理のない動きから始められるので、誰にでも入りやすいと思います」と話していました。



月1回程度、町内の商業施設などで行われています。

移動オレンジカフェ

9月18日(水)、槻木生涯学習センターで、認知症を知る、学ぶ、考える「移動オレンジカフェ」が行われました。

参加者は、認知症に関する紙芝居を見たり、脳トレをしたり、お茶を飲みながらのおしゃべりなどで交流し、認知症についての理解を深めました。

猪股智子さとこさん(槻木上町)は、「認知症に関して、参考になる話を聞きたい思い参加しました。良い話をいっぱい聞かせてもらって勉強になりましたし、楽しかったです」と話してくれました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

久方に電車に乗りて仙台へ
 デバ地下めぐる小旅行
 船岡 可沼 妙子

甲子園日頃の努力に思いめぐらせ
 球児等の姿に涙がにじむ
 西船迫 下浦 智子

一心に粘土遊びの好きな孫
 見ても分らぬ「アートの世界」
 本船迫 森田 眞六

川柳

秋はじめネコの寝場所も秋場所に
 耕耘機耕すほどに草も生え
 船岡 小林 夢子

忘れだつちや「野心」ばどこさ置いだつけ
 西船迫 安ヶ平良三
 四日市場 鳥井崎七十老

俳句

梅雨晴れ間紅葉に光る露滴
 槻木 平間 三郎

甲子園歓声轟く雲の峰
 船岡 可沼 妙子

落日を待てとばかりに出稲の花
 西船迫 安ヶ平奈津枝

朝露をはじく稲穂や秋の風
 船岡 安藤 節子

秋草を活けて独りの昼餉かな
 中野西範子

余生とは人さまさまに合歡の花
 石垣テル子

夕暮れや一人花野の風になる
 制野 千秋

月今宵キリンとなりし猫の影
 遊佐 徹

稲架かける下に貝塚住居跡
 山家美智子

長き夜の友とラジオの深夜便
 三塚 直樹

咲くほどにやさしき降らす合歡の花
 及川美沙子

台風の爪痕痛し人災も
 若月ノリ子

水葵二万の死者のこゑかとも
 大久保和子

秋灯下行方知らずの言葉かな
 浪山 克彦

バスクリン日本一周した気分
 船岡 阿部美代子

暑い日の居久根の中は別世界
 西船迫 後藤 文子

孫と将棋手加減せしりいつのまに
 一手に負けて穏やかならず
 船岡 伊藤タイ子

鉢植えの白き桔梗に雨が降る
 小さな世界に物語りあり
 船岡 沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで10月10日(木)まで応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告

我が校
の
誇り



船岡小学校

「いい知恵 いい汗 いい笑顔」を合い言葉に、勉強や運動に頑張って取り組む、笑顔あふれる子どもたち。そんな子どもたちが自慢の、我が校を紹介します。

ダイナミックで感動のある学校行事



本校には、現在568名の児童が在籍しています。子どもたちは、日々の学習や運動に頑張って取り組んでおり、その成果を発表する場としてさまざまな学校行事が年間を通して行われています。中でも、保護者や地域の方々に多数参観いただく、春の「運動会」と秋の「音楽発表会」では、子どもたちの活躍が目立ちます。運動会で披露される伝統の鼓笛演奏では、本校オリジナルの「喜木堂々」（喜びの歌、木星、威風堂々の3曲をアレンジした曲）が校庭全体に響き渡ります。恒例のソーラン節や騎馬戦からも多人数ならではのダイナミックさが伝わってきます。音楽発表会では、各学年100名前後の子どもたちが、心を一に合唱や合奏に取り組みます。その歌声や一心に音を奏でる姿は感動的で、自然と涙があふれるほどです。切磋琢磨という言葉がありますが、子どもたちは学校行事を通して多くの仲間、友達と競い合い、助け合いながら成長しています。

花と緑に囲まれた美しい学校

「花のまち柴田」の誇りは桜ですが、桜は本校の誇りでもあります。校章のモチーフは桜であり、校木も桜で、校庭には20本を超える桜が植えられています。4月には、満開の桜が新年度に希望を膨らませる子どもたちを出迎え、校庭を彩ります。桜ばかりではありません。校庭東側のイチョウやアスナロ、南側のプラタナスは並木と呼べるほどの立派さです。そして、体育館前の大樹ケヤキ。その大きな木陰では、たくさん子どもたちが毎日楽しく遊んでいます。まさに、140年を超える伝統校ならではの植栽です。花は人を笑顔にし、緑は人に安らぎを与えます。子どもたちの健やかな成長を願って植えられた木々と花々をこれからも大切にしていきます。



地域の中で地域を学ぶ学校



「子どもは地域の宝」とよく言われますが、地域は、子どもにとって「かけがえない場所」であってほしいと願っています。本校では、4月に各学年ごとに船岡城址公園や白石川の土手に花見に出かけ、時には観光に訪れた外国人と交流することもあります。仙台大学生による学習支援ボランティア「未来先生」や仙台大塾への参加、船岡支援学校との交流会、しばたっ子応援団による「史跡見学」「箏教室」「茶道体験」など、地域の自然や施設、歴史や文化に触れる体験を数多く行っています。地域の良さを身近に感じ学べることも本校の大きな自慢です。

〔船岡小学校長 片山栄次〕



柴田町
フェイスブック

<https://www.facebook.com/town.shibata>

町の景色やイベントなどを紹介！

まちづくり政策課 TEL54-2111



広 告

地域のお茶のみ場のような 会社を目指して

株式会社遠藤工業

遠藤 敦史さん（39歳）

今回は、一般建築工事やリフォーム工事、内外装の塗装工事など、建築工事を幅広く手掛ける、株式会社遠藤工業の遠藤敦史さんを紹介いたします。



「困り事を相談しに来られたお客様に対して、『できない』という言葉は出来れば使いたくありません」と語る遠藤さんの原点は、社長である父の仕事に対する姿勢でした。「社長は頼まれたら『いいよ』が口癖で、どうかしてやれないか考える人でした。その小さな積み重ねが当社の信頼や人脈を築きあげてきたと思います」と話します。

東日本大震災から遠藤さんを救ったのが、その信頼でした。当時、沿岸部での仕事の中に被災した遠藤さんは、作業車両を津波でさらわれ、会社を継続できるかの岐路に立たされていました。

「その時に知り合いの自動車販売店が、車両の手配で相談に乗ってくれたり、昔からのお客さんからも仕事の相談がありました。おかげで震災後の混乱の中でも復興工事や住宅修繕の仕事をすることができました」と振り返ります。

遠藤さん自身も、「工事やリフォームなどの規模の大きな仕事以外にも、



内装に使用する木材に鉋がけを行う遠藤さん。



株式会社遠藤工業

柴田町大字下名生字剣水170-2
TEL 55-3450

昭和55年創業。内外塗装や一般住宅のリフォームから、住宅に関わる全般を幅広く手掛けている。従業員6人。

例えば近所の方から、ちよつとした木材の加工や、金属の溶接などを頼まれることもあります。仕事の大小にかかわらず、自分のスキルで出来ることであれば、要求に応えたいと思っています。また、「理想は、ご近所さんの感覚で、お客様とお付き合いができることだと思っています。ちよつとお茶を飲みに来て、世間話をしながら困っていることを相談してもらえらる。会社という堅いものではなく、近所の何でもできる器用な人、そのように身近に感じてもらえれば嬉しいですね」と話してくれました。

今後については、「社長が築いてきた当社のスタイルを崩さずに、自分も遠藤工業を引き継いでいきたいと思えます」と目標を話してくれました。

お客様から感謝の言葉を頂くことが何よりの喜びと話す遠藤さん。これからも頑張ってください。

人口と世帯数

（令和元年9月1日現在）



37,765人
（前月比11人減）



18,853人
（前月比1人減）



18,912人
（前月比10人減）



15,878世帯
（前月比4世帯増）

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。